

指定管理者評価シート

事業名	国際交流施設運営管理費	所管課(電話番号)	総務局国際部交流課(211-2032)
-----	-------------	-----------	---------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌留学生交流センター	所在地	豊平区豊平6条6丁目5番35号
開設時期	平成12年1月	延床面積	5022.28㎡
目的	留学生等に良質な宿泊施設を提供するとともに、市民と留学生等との交流の場を設けることにより、市民及び留学生等の相互理解並びに親善を深め、もって本市の国際化に資すること。		
事業概要	(1) 留学生等のために宿泊施設を提供すること (2) 市民と留学生等との交流の場を設けること (3) 会議室その他のセンターの施設(宿泊施設を除く。)を使用に供すること (4) その他センターの設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	宿泊室(100室)、会議室、学習室、交流ラウンジ、軽スポーツ室、屋外自転車置場(144台)		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人 札幌国際プラザ		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持及び管理に関する業務 (3) 施設における事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和3年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 留学生等に対し安全快適な居住空間を提供すると共に、市民との交流事業を実施することで相互理解と親善を深め、札幌市の国際化に資するという理念のもと、「令和3年度管理業務計画書」を策定した。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 「令和3年度管理業務計画書」を策定し、平等利用に係る取り組みについては、施設の利用にあたり、合理的な理由なく利用の制限を行ったり、特定の利用者を優遇又は冷遇することのないよう、職員に対しては関係規則の理解や研修等の実施により方針を徹底し、不公平感を生じない業務を遂行した。	計画において定めた基本方針に則り、館生である留学生が快適な生活を送り、また、市民との交流プログラムは中止せざるを得ない社会状況にあっても、心身の健康を維持できるよう、職員一同が創意工夫に努め、適切に管理業務を実施した。加えて、館内での感染症クラスター発生予防に努めた。	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> 要求水準を満たし、管理業務計画書に沿った適切な運営がなされている。	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼ エネルギー起源二酸化炭素の削減

「札幌市温暖化対策推進計画」に基づき、二酸化炭素排出に係る電気やガスの節約を入居者、施設利用者に呼びかけ、削減に取り組んだ。

▼ 環境配慮の推進

札幌留学生交流センターの入居率が年間を通じて低下傾向にあったが、特に冬季においても換気を徹底していたことからエネルギー効率の低下は避けられず、電気・ガスの使用量は前年度比で大きく削減することはできなかった。

▼ 支障のない範囲で、次のような方法でエネルギー消費削減に努めた：①冷房(28℃・暖房温度(21℃)を集中管理で固定し、基準温度を徹底、②ロビー・廊下・共用トイレの間引き点灯の実施、③業務用大型冷蔵庫の電源を事業に必要な時以外は切る。④駐輪場の照明を間引き点灯。⑤館内共用部のうち差し支えない部分の照明を常時消灯。

▼ ごみ減量のため、ミスコピー紙の裏面活用を徹底し、トイレトーパー、コピー用紙、文具類等については、グリーン購入ガイドライン指定品を購入するよう心掛けた。

▼ 7月から自室内を含む全館禁煙(敷地内全面禁煙)に移行し、受動喫煙の防止にも努めた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼ 管理運営を統括する統括管理責任者を配置するとともに、その職務代理者を定めた。従業員を計画どおり配置し、供用時間に常時対応できる体制を確保した。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼ 月間行事予定を事務室内ボードに記載し、職員間で業務予定を確認、情報の共有化を図った。さらに、当年度の実績を踏まえ翌年度分の想定業務カレンダーを作成・共有し、効率的な事業運営に努めた。

▼ 入居者には声かけに努め、会議室等利用者を含む来訪者には丁寧で品位ある対応を心がけた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼ 委託業務：警備、清掃(日常・定期清掃、居室清掃、カーテンクリーニング)、設備管理(設備管理、消防設備点検、受水槽清掃、樹木年間管理、除排雪、自家用電気工作物保安管理、管理・検針システム保守点検、空調・換気自動制御保守点検、電源制御システム保守点検、特定建築物点検、建築設備点検)については、第三者へ委託を行い、適正な業務が遂行されていることを確認した。

二酸化炭素排出量は、電気・ガス使用量と関連しており、入居者及び施設利用者に常に節減を呼びかけている。特に、新規入居者には掲示やオリエンテーション等により節減を意識付けた。

当年度は、年間を通じて利用率が低く推移した一方で、長期間空室となっている居室を調湿するための空調換気扇常時運転によるエネルギー消費や、館内換気の徹底による冷暖房効率の低下はやむを得ないことと判断し継続している。

計画に基づき責任者等を配置し円滑な管理運営ができる体制を整えた。

情報を共有し均一で良質なサービスを提供できた。入居者は館内行事を通じて親交を深めている。

委託業者の監督・指導を怠りなく実施し、日頃の情報交換を密に行った結果、突発的な故障・不具合等に際しても、遅滞なく対応できた。

入居者への環境配慮に対する周知が徹底されており、環境に配慮しつつ、新型コロナウイルス対策に必要な対策を考慮したうえでの運営がなされている。

施設運営に適切な人員配置がなされ、体制が確立されている。

職員間での情報共有の方法が確立されており、入居者へのサービス向上に資するものとなっている。

委託業者との連携及び監督を行いながら、適切な施設管理がなされている。緊急時の対応についても遅滞なく行われている。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 札幌留学生交流センター運営協議会

開催回	協議・報告内容
第1回	11月4日(木)実施。令和3年度上期の入居状況、事業等実施状況を報告後、情報交換を行った。
第2回	3月16日(水)実施。令和3年度の入居状況・事業等実施状況の報告後、情報交換を行った。
<協議会メンバー> 指定管理者、札幌市国際部交流課、豊平第17分区町内会長、北海道大学学務部学生支援課、札幌大学企画部国際交流課、札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワークSKY	

▼ 関係機関

開催回	協議・報告内容
第1回(中止)	11月 地域の町内会、教育機関等60団体からなる「豊平区まちづくり連絡会」は感染症対策のため前年度に続き中止となったが、地域で行われている各種事業の情報収集を継続的に行った。
第2回	12月 円滑な施設運営のため、管理運営状況や新年度の体制について北海道大学学務部と情報交換を行った。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

業務遂行においては、プラザが行っている他の業務と経理を明確に区分し、業務に係る経費の収支については、帳簿及び預金口座により管理している。また、内部監査を実施して現金の適正管理に努めた。

▽ 要望・苦情対応

平日・昼間の苦情については、事務室職員が受け付け、平日の夜間、土・日・祝日等の休日の苦情については、警備員が受け付けることとしている。苦情の内容によって、プラザ企画事業部や札幌市と相談・協議の上、対応している。
 要望事項(アンケート記載分)については、事務室内で協議し、対応可能な事項は改善した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼センター内にアンケート箱を設置し、利用者の声を聴き取っている。
 ▼入居者アンケートを実施しており、対応可能な事項は即実行し、生活環境の改善に努めた。
 ▼施設利用者には通年でアンケートを実施し、要望については対応可能な範囲内で遅延なく対応した。
 ▼交流事業ごとに参加者アンケートを実施し、次年度プログラムに反映している。

運営協議会を設置し、管理業務等の状況報告を行った。

町内会や大学等関係機関・団体と積極的に意見交換等を行い適切に対応した。

感染症予防の観点から一堂に会しての会合等は中止となるなかで、地域の町内会・小学校や、北海道大学など関係機関と個別に情報交換を行った。

公認会計士・税理士による監査を行い、客観的に点検・確認を受け、適切に処理できた。

当年度において館生や外部からの苦情はなかった。

管理運営事業及び交流事業について入居者や利用者等の声を反映するよう努めた。

運営状況について、運営協議会を通じて協議会会員に適切に報告がなされている。また、情報交換も有意義なものとなっている。

公認会計士等の監査を受けており、帳簿及び現金管理について適切になされている。

苦情対応の体制が確立されており、苦情につながらない運営もできている。

入居者からの要望を施設運営に生かす努力がなされている。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼センターで働く職員に対し、最低賃金889円(令和3年10月1日効力発生)を上回る時給を支給した。 ▼センターで働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ▼全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。 <p>また、必要に応じて適切に届け出等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼1年に1回定期健康診断を実施した。 ▼指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。 ▼再委託により実施している警備及び清掃業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関する情報提供を求めた。 	<p>各関連法令に基づき、適切な労働環境の維持に努めた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">A</th> <th style="width: 25%; background-color: yellow;">B</th> <th style="width: 25%;">C</th> <th style="width: 25%;">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">労働環境の管理が適切になされている。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	労働環境の管理が適切になされている。											
A	B	C	D																
労働環境の管理が適切になされている。																			
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼複合施設であるため、関係団体合同で消防計画を作成し、有事の際に対応する組織編成表により行動し、利用者の安全確保に努めている。 ▼施設の管理運営業務期間中の法律上の損害賠償保険に加入しているほか、一部の交流事業には、参加者全員にレクリエーション保険をかけて実施している。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼清掃、警備、保守点検業務について、仕様書のとおり実施した。 ▼消防設備は法定点検により不良箇所があった場合は速やかに改修工事を行った。 ▼水廻りやベッド等の引出修理等の小規模な修繕を迅速に実施して快適な住環境の維持に努めた。 ▼室内クロスの汚損が著しい居室について張替工事を行うとともに、浴室換気扇や浴室鏡等の損耗程度が重度のものから計画的に取替工事を行った。 ▼館内の換気・消毒を定期的に行った。 ▼厳冬期に発生する軽スポーツ室屋根の雪庇を都度落とすなど、落雪事故防止に努めるとともに、転倒事故防止のため敷地内及び周辺に発生した氷結路への砂播きを行った。 <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼新入館生オリエンテーションで防災・避難等について説明し、館生への周知を図った。 ▼6月 夜間を想定した防災避難・通報等の訓練を併設施設である札幌国際ユースホステルと共同実施した。 ▼10月 館生の避難訓練と地域住民との合同防災訓練を行い、避難及び消火器取扱訓練、AED操作訓練を実施した。 ▼豊平警察署と定期的に情報交換を行っている。 	<p>関係団体とは日頃から情報交換を密に行い、協力体制を確認している。重大事案の発生は、一件もなかった。</p> <p>緊急性の高いものは速やかに修理を行い、その他は計画的に改修を実施した。</p> <p>また、札幌市との協議により共用設備や居室備品の修繕・交換を行い居住環境を整え、適切な維持管理ができた。</p> <p>10月の地域との合同防災訓練では、近隣住民とともに、多くの留学生在が避難・消火器取扱訓練及びAED操作訓練等を体験した。例年実施している訓練後の交流会は、感染症予防のため開催を自粛した。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">A</th> <th style="width: 25%; background-color: yellow;">B</th> <th style="width: 25%;">C</th> <th style="width: 25%;">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">日頃から関係団体との協議が行われており、連携体制が確立されている。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">適切な設備、備品の管理が図られている。新型コロナウイルスの影響により、入居者の増減がある中で、居室や共用部分の居住環境の維持管理ができています。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">複数回にわたり防災訓練や防災意識を高める活動をしている。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	日頃から関係団体との協議が行われており、連携体制が確立されている。				適切な設備、備品の管理が図られている。新型コロナウイルスの影響により、入居者の増減がある中で、居室や共用部分の居住環境の維持管理ができています。				複数回にわたり防災訓練や防災意識を高める活動をしている。			
A	B	C	D																
日頃から関係団体との協議が行われており、連携体制が確立されている。																			
適切な設備、備品の管理が図られている。新型コロナウイルスの影響により、入居者の増減がある中で、居室や共用部分の居住環境の維持管理ができています。																			
複数回にわたり防災訓練や防災意識を高める活動をしている。																			

(4)事業の計画・実施業務	▽ 市民と留学生等の相互理解と国際親善に関する学習機会の提供業務		A B C D
	<p>▼留学生を対象とする事業:中島公園でRAとスタッフを採せ!(25人/職員除く)を実施。例年実施している「世界探検まつり・もちつき交流会」、「新入館生歓迎会(春・秋)」、「館生送別会(冬)」は新型コロナ感染予防の観点から中止した。</p> <p>▼相互理解を目的とした事業:留学生と地域の合同防災訓練(52人/職員・関係者除く)を実施。例年実施している「町内会との花植え」、「北海道神宮例祭山車曳き」、「留学生母国文化紹介セミナー」、「地域文化体験事業」、「留学生と料理交流会」は上記の事情により中止した。</p>	<p>新型コロナ感染予防に配慮し、留学生の心身の健康維持及び安全な生活に資する事業を可能な範囲で実施した。</p>	<p>新型コロナウィルス感染症の影響もあり、中止となった事業があったが、感染拡大防止と留学生同士、また、地域との交流を最低限実施している。中止の事業が多いが、オンラインを活用するなどの工夫の余地があったと考えられる。</p>
	<p>▽ 市民と留学生等の相互理解と国際親善に関する情報収集及び提供業務</p> <p>▼新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、全的にイベント自粛・中止が相次いでおり、感染症対策に関する情報収集及び提供が主務となった。</p> <p>▼札幌圏大学国際交流フォーラム等のネットワークを通じて、各大学での留学生受入状況について最新の動向を把握するよう努めた。</p>	<p>行政当局からの要請や提供情報について、分かり易い内容となるよう努め、迅速かつ適切に入居者へ提供した。</p>	<p>積極的に感染防止ポスターを掲出するなど、情報提供に努めている。</p>
	<p>▽ 市民と留学生等の相互理解と国際親善に関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>▼札幌市及び札幌周辺に在住する外国人を対象としてボランティア団体「窓」が開催する日本語教室や、地域住民が参加する夏・冬の交流会は、中止となった。</p> <p>▼札幌国際プラザの呼びかけによる食糧等支援活動への市民・企業の賛同者が多く現れ、また個別に当センター入居者向けの物資支援をお申し出いただいた市民からの食糧・日用品等を随時、館生に配布した。</p>	<p>支援活動により市民と留学生の相互理解・国際親善がいつそう深まった。</p>	<p>食糧等支援活動において、国際親善が図られるとともに、活動がきっかけとなり、個別の申し入れにもつながる好循環となったことが評価できる。</p>
	<p>▽ 市民と留学生等の相互理解と国際親善に関する相談</p> <p>▼各種相談については、職員やRA(日本人レジデントアシスタント)が速やかに対応して問題なく推移している。</p>	<p>職員やRAの対応には十分な満足度が示された。</p>	<p>個別の相談について親身に対応し、十分な相談体制が確立されている。</p>
	<p>▽ 企業と留学生等との交流業務</p> <p>▼新型コロナウィルス感染症拡大の影響により中止せざるを得なかった。</p>	<p>主に市内での就職を考える館生からの相談を個別に受け対応している。</p>	<p>施設の特性を考慮すると致し方ないが、オンラインを活用しての交流の機会を模索するなど、工夫の余地があったと考えら</p>

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等				新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国外からの新規入居者が激減した一方、市内・国内からの転入者を積極的に受け入れた。 会議室は一般貸出を停止し当センター及び札幌国際ユースホステル関係者のみの利用に制限し、さらに感染拡大防止の観点から利用人数にも上限を設けて運用していたため、実績値は通常の例によらない。	A	B	C	D
		R2年度実績	R3年度計画	R3年度実績		新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、特に単身用入居者の確保は厳しいものとなった。今後は安定した稼働の確保に期待したい。			
	居室(単身用)	室数(室)	960	960	960				
		件数(件)	524	589	505				
		稼働率(%)	54.6	61.4	52.6				
	居室(世帯用)	室数(室)	240	240	240				
		件数(件)	191	131	208				
		稼働率(%)	79.6	54.6	86.7				
	会議室	件数(件)	82	160	33				
		利用人数(人)	586	480	101				
		稼働率(%)	3.2	5.4	1.1				
	▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件								
	▽ 利用促進の取組								
	居室については、①世帯居室は家族帯同者及び家族同居予定の者の利用を認めている ②2月、7月に入居者募集案内を札幌市近郊の各大学に依頼するとともに、ホームページやSNSを活用した ③市内・道外からの転入居希望者の受入を迅速に行った。								
(6)付随業務	▽ 広報業務				ホームページやSNSの更新頻度をできる限り高く保つとともに、当センターの事業をはじめ施設管理上のお知らせなども掲載し、利用者の利便性を図っている。	A	B	C	D
		当センター専用のホームページ及びFacebookを日・英の2カ国語で運営した。コンテンツの更新等の際しても札幌市の要求水準を満たすウェブアクセシビリティを確保した。 施設の貸館受付状況(中止、再開等)について、ホームページを活用して告知した。					複数の媒体にて事業や施設のお知らせを掲載するとともに、新型コロナウイルス感染症の情報を入居者に詳しく伝えるなど、適切な広報に努めている。		
	▽ 引継ぎ業務								
	当年度は他団体との引継ぎ業務は行っていない。								
2 自主事業その他									
▽ 自主事業					今後とも地域との連携を密にしながら、実施していく。	A	B	C	D
	▼豊平区PTA連合会・豊平警察署の「子ども110番の家」に登録している。					地域との連携が取られている。			
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等					市内企業等の活用については100%達成できた。また、福祉施策への配慮について引き続き努めていく。				
▼清掃、警備、設備管理等の業務の委託及び小規模修繕工事等施設の管理維持に関する業務は、すべて市内に事業所を持つ企業に発注した。						市内企業の受注機会の確保に積極的に取り組んでいる。			

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

		A	B	C	D
実施方法	会議室利用団体は通年、宿泊室使用者は12~2月、交流事業参加者は実施の都度、用紙配布により実施した。	<p>入居者は、職員の説明、プライバシーやコロナ感染予防策を含めたセキュリティ保持、施設状況等で要求水準の80.0%を大幅に超える高い満足度を示した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、交流事業等のイベント中止が相次いだものの、交流機会への参加意欲は高かった。</p> <p>施設利用者の要望・意見に対する回答を掲示板に掲示して周知した。</p>	アンケートのそれぞれの満足度が要求水準を大きく超えており、今後も入居者へのサービスの維持向上に期待したい。		
結果概要	<p><会議室利用者~回答:1団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による閉鎖が続いたため、当年度は1団体のみ利用・回答となっている。 ・申込・利用方法については「とても良い」、「良い」、「普通」を合せて100.0%、同様に利用時間、料金支払い方法、施設・設備の状況も100.0%の回答であり、利用団体は満足して利用していると思われる。 ・接客対応については、「とても良い」、「良い」、「普通」を合せて100.0%、サービス全体の評価でも、「とても良い」、「良い」、「普通」を合せて100.0%となっている。 <p><入居者~回答:46人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理室窓口で用件を頼んだときの印象について、「迅速に対応してくれる」が97.8%、管理室窓口職員の説明は「わかりやすい」は100%で、前年度同様、たいへん好評を得ている。 ・センターでのプライバシーは、「守られている」「おおむね守られている」を合せて100%、セキュリティは、「十分に保たれている」「おおむね保たれている」を合せて100%と、安心感をもって生活していると思われる。また生活における居室内の設備については「快適」、「おおむね快適」合わせて97.8%、共有施設についても「快適」「おおむね快適」を合せて95.6%で高い評価を得ている。 ・センターでのイベント参加回数は、「年に5回以上」「年に3~4回」を合せて54%、「年に1~2回」は36%と館生の80%が何らかのイベントに参加している。 				
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【要望】</p> <p>利用者からの要望・意見は、直接の聴き取りのほか、意見箱の設置やアンケートの実施により把握している。</p> <p>【対応】</p> <p>館生・会議室及び軽スポーツ室利用者の要望・意見に対する回答は掲示板に掲示し周知している。また、対応可能な策は可能な限り実施している。</p>				

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R3年度計画	R3年度決算	差(決算-計画)				
収入	42,328	41,243	▲ 1,085	収入は、入居率が大幅に落ち込んだため、計画比約1,085千円減となった。	新型コロナウイルス感染症の影響を特に大きく受けたため、入居率が大幅に落ち込んでいる。経費削減等の努力により収入状況の改善に期待したい。		
指定管理業務収入	42,328	41,243	▲ 1,085				
指定管理費	12,675	12,675	0				
利用料金	29,422	28,568	▲ 854				
その他	231	0	▲ 231				
自主事業収入	0	0	0				
支出	58,840	59,177	337				
指定管理業務支出	58,840	59,177	337				
自主事業支出	0	0	0				
収入-支出	▲ 16,512	▲ 17,934	▲ 1,422				
利益還元			0	支出は、経費節減による物件費の削減を実現した一方、管理人件費及び事業人件費の増加分を埋めるには至らず、計画比約337千円超過となった。			
法人税等			0				
純利益	▲ 16,512	▲ 17,934	▲ 1,422				
▽ 説明				その結果、収支差額は約17,934千円の支出超過となった。			
収入は、利用料金(実費分を含む)が大幅に減収したため、計画に対して1,085千円の減となった。							
支出は、経費削減に努めた結果、物件費は計画の範囲内に収めたが、人件費の増加を埋めるには至らなかった。							

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 ▼新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初計画を下回る入居率及び利用収入額となっているものの、財団全体として安定的な経営維持に努めている。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼個人情報については、適正に取り扱っている。 ▼情報公開については、請求件数0件であった。 ▼暴力団排除推進条例に則り、契約解除要件等市と同様の対応を行っている。	細心の注意を払って個人情報保護を図った。今後とも北大との連携も密にしながら、管理していく。	適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年度から引き続いて国外からの新規入居者は激減したものの、新型コロナウイルス感染予防策を含む良好な居住環境に加え、充実した生活支援や迅速な対応が評価され、市内からの転居による新規入居者を迎えることができた。感染予防策(人流の抑制、換気、消毒等)の徹底や入居者の行動変容を促す取組により、感染症クラスター化をゼロに抑え込むことができた。	新型コロナウイルス感染症の影響は続くものと予測されるが、各大学における留学生受入は再開しており、積極的に新規入居者の獲得に努める。施設の魅力・価値をさらに高められるよう、設備の維持管理を適切に行っていくとともに、これまで高い評価が得られている迅速かつ丁寧な入居者対応のさらなる充実を図る。感染予防策を継続していくなかで、入居者の心身の健康維持に資する取組を進める。コロナ禍を受けて中断していた市民や企業との交流事業は、可能な範囲・方法で再開していく。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
新型コロナウイルスの影響がある中で、新規入居者を獲得できたこと、また、不安を抱える入居者に対しケアがなされていた点は評価できる。また、宿泊施設という特性上、感染が容易に広がる可能性が高い中で、館内の感染対策や感染拡大防止の周知も徹底されており、適切な運営がなされている。	新型コロナウイルスの感染予防は十分と考えられるため、もう一つステップを上げ、多文化交流、就職支援など、施設の特徴を生かした取り組みを、少人数からでも実施するなど、取り組みを模索してもらいたい。